

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市岩崎地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

担当地域は 14 町 6 連合地区（保土ヶ谷地区・保土ヶ谷南部地区・保土ヶ谷中地区・岩井町原地区・保土ヶ谷東部地区・岩間地区）の広域エリアを担当しています。人口 51,130 人強、65 歳以上の人口が 12,350 人強であり、高齢化率は 24.15% となり、65 歳以上の高齢者人口は年々増加傾向にあります。

各地区で課題等はありませんが特に高齢化率の上昇、高齢者単身世帯の増加により今まで以上に地域支援が必要とされている現状の中、地域との顔の見える関係づくりの強化・関係機関との連携強化を図っていく必要があります。また同時に地域福祉の推進において重要な役割を果たしている地域住民を主体とした取組やグループ活動等が、地域の中に広がるよう支援し、子育て・障害者・高齢者を地域で支えるコミュニティの構築を推進します。また各団体等が地域の資源と課題を共有し、有機的な連携が図れるように支援する必要があります。

地域の人と人同士がつながりながらお互いに支え合うことを基礎として、見守り・支えあい、いきいき健康、担い手づくり・情報の取組を進めます。6 連合町内会の共通する個別課題より地域全体の課題を把握し、課題解決に向けた組織づくりを進めます。またそれぞれの職種の特徴を活かして、地域ケアプラザ全体で地域共通の重点的支援の必要な事から支援策を考えていきます。いつまでも住み続けたいまち「ほ도가や」を目指し、今年度は介護予防、生活困窮者支援を通じた地域づくりを主に現在実施されている自主的・継続的な活動の取組を支援し、つながりの強い活気がある地域を増やしていきます。特に地域の目指す姿に向けた取組を支援し、地域全体に必要な情報発信・情報提供が出来るよう様々な媒体の取組を実施していきます。必要な人に的確に支援が届く仕組みをつくと同時に地域における連携・協議の場を拡充していきます。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

地域の中の身近な相談窓口・福祉保健活動の拠点として、自主事業・会議・講座等の様々な場面で相談・情報提供を行い、地域との信頼関係に努めています。特に声が届きにくい地域へ積極的に出向き広報紙・チラシ等で必要な情報提供を図り、いつでも総合相談ができる体制である事の周知を図っています。また各関係機関と連携し地域の特性・主体性を考慮して地域を支える体制の強化を図っています。特に五職種が共催にて自主事業を積極的に地域の中で活動を展開し、地域住民や近隣施設等との連携強化を図っています。

今後も五職種が連携し協働にて地域の総合相談窓口としての役割に努めていきます。

(3) 各事業の連携

五職種が互いの専門性を尊重し、相互協力による連携を密に図り、地域の情報から支援方法を恒常的に情報共有し事業展開する事に努めています。特に五職種会議を毎月実施し各地域に向けた効果的な介護予防・認知症支援・生活支援などに関わる共催事業の実施に取り組んでいます。

地域連絡会・地域ケア会議等を通じて意見交換・分析等を実施し、地域のニーズに合った事業展開を各部門の専門性を活かしてケアケアプラザ全体で支援に努めています。

引き続き、現在実施している地域連絡会・地域ケア会議等を通じて地域と協働にて地域の活性化に努めていきます。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

安定した業務運営のために適切な人員配置・適材適所で維持に努めています。また個々の資質の向上が図れるように研修会等への参加、情報交換等の場を設ける等の育成を図っています。特に職員全員が同じ目的意識・誇りを持って仕事に取り組む事ができる環境整備・チーム作りに努めると同時に、職員が公正中立な立場で業務にあたるよう取り組んでいます。

法人全体で感染症対策委員会を行いマニュアル作成等通じ情報交換の機会を設けて相互向上や共通認識を図りました。またコンプライアンスに関する会議を実施し組織全体で安全な業務遂行に取り組んでいます。

また年1回以上、職員意向調査を実施しています。

引き続き、法人全体で職員の確保、環境整備を図っていきます。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

地域住民・行政・関係機関等の地域全体で顔が見える関係づくりができるよう地域のネットワーク構築に努めています。特に地域ごとの共通課題による共助体制の強化・多職種連携を図っています。

地域からの依頼や地域のニーズに合った講座等を実施し情報の交換・共有化を行い継続的に信頼関係の構築に努めています。また防災・防犯対策を地域の方と一緒にを行い、安心なまちづくり、災害時の避難支援体制の確保等の取組を進めています。

認知症の見守り活動を始め地域の中で見守りの必要な方への支援を地域の方と一緒に進めています。また地域の会議等に出席し地域の特性に合わせた支援に取り組んでいます。

今後も職員全員がネットワークの構築を意識し広がりのある繋がりを進めていきます。

(6) 区行政との協働

ほっとなまちづくりをはじめ各事業で構築した地域との信頼関係、行政との連携を深め、地域に根付いたケアプラザであるよう地域の状況把握、必要な支援を実施していくと同時に、所内での情報共有・意見交換を図りました。また地域の発展のために積極的に意見を述べました。また区行政・区社会福祉協議会と協働にて地域の特性を把握し、地域ごとの必要なテーマにて効果的な関係づくりと信頼関係を構築しています。特に区行政とはケアプラザの視点・思考等を大切に専門職としての役割を認識し積極的に協働し地域に向き合っています。

引き続き、積極的に区行政と密に連携を取り地域の安全と安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ①地区支援の観点からほとんどの自主事業を地域包括、生活支援と協働にて実施しました。また、施設間連携での自主事業も数多く実施しました。
3月にはアワーズとの共催にて自主事業を実施しました。
- ②今年度は関係機関の協力も得て、活動拠点をプラザ以外の場所に設定し自主事業を実施することを心掛けました。
その中でも、わくわく体操×とくとく講座に関しては地域住民の方々が中心となり、区行政、施設が一体となって取組めたことが今後の地区支援及び地域活動へ繋がる一つの取組となりました。
また、今年度も地域の小学校にて総合学習の時間を頂き、地域福祉や高齢者についての授業および体験を学校の先生と話し合いながら実施することができました。
- ③新規団体の立ち上げ支援に関しては、現在実施している自主事業参加者の状況を確認しながら継続的に進捗していくこととしています。
団体立ち上げをゴールと設定せず長く継続するための支援を継続的に実施していきます。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ①部屋利用説明・交流会を年度末に実施しました。
部屋利用に関する諸注意だけでなく、お部屋の空き状況をお伝えすると共にボランティア団体の活動紹介を改めて実施し、貸館利用者の方の幅広い世代の方々に向けて周知しました。
また、子育ての自主事業を通じた団体間での協力もありました。
- ②活動団体案内冊子およびキラリ★シニア塾での活動案内とともにほどがや区民まつりの際に各地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーターが中心となり、地域ケアプラザの普及啓発を目的としたリーフレットを作成し、誰もが集える場であることを周知しました。
- ③館内をピンク色に統一することにより、利用される方が暖かく誰もが利用しやすい雰囲気作りを心掛けました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ①高齢者だけでなく、幅広い世代の方々をボランティア活動へ繋げるキッカケとして、ボランティア連絡会に貸館利用者にも参加して頂き、多岐に渡る団体との協力体制の推進と自主事業として実施したボランティアカレッジの参加者の活動の場の提供が出来るよう進めていきます。
- ②傾聴講座を実施した際に、保土ヶ谷区ボランティアセンターの方と連携を図り、区域で活躍している傾聴サークルの案内を実施しました。
今後もプラザでの活動だけにとどまらず、地域や区域で行っているボランティア活動へ繋げていける様、継続的に案内を実施していきます。
- ③次年度はよこはまシニアボランティアポイント登録研修会を実施し、継続的に男性ボランティアやデイサービスでのボランティア活動へ繋げていける様にしていきます。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ① 広報紙での活動団体の紹介をはじめとし、活動団体案内冊子を通じて、団体へ参加したいという方も増えてきました。昨年度から継続的に実施している作業所のとうふ販売を広報紙に周知する事でより多くの方に知ってもらうことができました。今年度は地域に出向いて実施した自主事業報告を多く掲載しました。またサロン活動の紹介を実施し、地域の方々の協力をお願いすることで地域住民の方々の協力を得て事業を実施することができました。
- ② 今年度も所長をはじめとした5職種で地域へ足を運び情報収集や課題抽出、関係作りを行う事ができました。継続的に実施している事で、地域からの講座依頼や相談が多くなり、より地域に密着した取組ができました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ① 地域包括支援センター及び地域活動交流コーディネーターと連携し、玄米ダンベル体操、おりがみサロン、ちくちくサロン、を通年開催し、地域で活躍できる「場」、気軽に参加できる「場」作りを視点に行い、地域で活動するきっかけづくりをしました。傾聴講座、生活支援スキル取得講座（庭木の剪定、障子の張替え、簡単な修繕等）を行い、担い手の発掘に努めました。傾聴講座の受講生が地域活躍できる傾聴ボランティアとして活動して頂けるようになりました。高齢者のみならず、近隣の小学校の福祉教育等に参加し、誰もが地域の担い手となれるような視点で事業展開をしました。地域交流事例検討会を通じて5職種で作る地域の『輪』について地域ケアプラザでの連携の重要性を含めた内容で発表させて頂きました。
- ② 年間を通じて生活支援コーディネーター向け研修に参加しました。その他にもファシリテーター研修、地域まちづくり研修等、地域活動する際に必要なスキルを身に付ける研修にも参加しました。
- ③ ボランティア間の連携及び、住民の方、介護保険事業所、ボランティアセンター等を招いてボランティア連絡会を開催予定です。ケアマネジャーやボランティアセンター、地域住民に参加して頂き、活動発表を通じて互いのニーズや情報を共有することで、ボランティアの人員不足の解消や連携の強化に努めました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ① アンケート調査にプラスαとしてニーズ調査アンケートをすることで、個々のニーズ把握を行いました。地域の会合や行事等に出席し、地域の生の声を拾えるように努めました。独自に地域概況データを作成して通常の高齢化率等に加えて高低差や地域包括ケアシステムを意識した徒歩15分圏内の居場所等を加えて説明を行いました。
- ② ケアマネジャー連絡会や介護予防従事者研修等に参加し、インフォーマルサービスの重要性を周知すると共にケアマネジャーの現状理解に努めました。また、定期的に居宅介護事業所を訪問し、常に最新の動向が追えるように努めました。
- ③ 所内5職種で連携し、それぞれの視点や強みを活かし、自主事業の共催や情報共有をすることで、地域からの講座依頼や相談が多くなり、より地域に密着した取組ができました。今年度は生活支援コーディネーターとしては、インフォーマルサービスの重要性等16回の出張講座をさせて頂きました。
- ④ 民間企業、公共交通機関、福祉施設、介護保険事業所等を交えた会議を行いました。会議で地域の見守りについて検討することにより、地域と民間企業や施設等がそれぞれの立場や役割を理解し、今後の活動や展開に向けて連携をつくるきっかけとなりました。保土ヶ谷南部地区ではこの会議をきっかけに施設の会議に地域住民が参加するようになりました。

(3) 連携・協議の場

- ①毎月1回、区役所・地域ケアプラザ・区社会福祉協議会との合同カンファレンスを行うことにより、地域課題の分析や生活支援体制整備事業による経過報告、地域活動・交流及び地域包括支援センターとの共催事業の経過報告や検討を行うことにより各機関の情報共有及び連携、課題整理を行いました。
地域交流・生活支援からは主に地区支援や地区情報を中心に毎回話をさせていただいております。
- ②所長及び5職種で毎月1回会議を行い、個別ケースから事業展開までの一連の課題を共有し、連携を図りました。今年度より地域活動・交流事業及び生活支援体制整備事業合同のコーディネーター会議を行うことにより、コーディネーター間連携も強化しました。
- ③6地区合同の地区社協、民生委員、民間企業、公共交通機関、福祉施設、介護保険事業所等を交えた見守りについて考える会議（協議体）を行いました。その後、各地区に展開していく為のアプローチを行い、南部地区のあんしん訪問研修内において見守りの協議体を行い、目的や必要に応じて民間企業や介護保険事業所を選定し、実施しました。この会議をきっかけに地域と民間企業等が繋がるきっかけとなりました。
- ④見守り会議をきっかけに地域住民と民間企業、介護保険事業所等のつながりが生まれ、事業所の会議に地域住民が参加できる環境ができる等地域ケアプラザが架け橋をつくるきっかけとなりました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ①6地区合同の地区社協、民生委員、民間企業、公共交通機関、福祉施設、介護保険事業所等を交えた見守りについて考える会議（協議体）を包括域地域ケア会議と合同で行いました。
包括域協議体を行うことで、他地区の良い取組や自分の地区の振り返りも兼ねることができ、参加者よりとても充実した会議だったという声も多々聞かれました。
- ②ボランティア間の連携及び、住民の方、介護保険事業所、ボランティアセンター等を招いてボランティア連絡会を開催予定です。ケアマネジャーやボランティアセンター、地域住民に参加して頂き、活動発表を通じて互いのニーズや情報を共有することで、ボランティアの人員不足の解消や連携の強化に努めました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・エリアが広い為、三職種で地域担当を決め生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターとともにほっとなまちづくりをはじめ各地区の民児協、定例会に参加し、社会資源、地域のネットワーク等の状況把握、地域の情報、課題を共有する為の支援ネットワークの構築を図るとともに、地域の方々との関係もより強化されてきています。又、今年度も、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターとともに介護予防連絡会、ボランティア連絡会、保土ヶ谷区生活支援センターの方を講師に招き精神疾患について及び、北里大学作業療法士を講師に招き地域の新任ケアマネジャー対象に介護予防支援介護予防ケアマネジメントについてとして岩崎地域ケアプラザケアマネ連絡会を開催し、資源情報収集や地域との連携を図るとともにそれぞれの横のつながり、顔の見える関係づくりの強化を図ってまいりました。
- ・地域ケア会議についても、相談の多かった精神疾患関係の困難事例について、地域の方々を始め、必要に応じ医療関係者（病院相談員、精神科の訪問看護師、作業療法士、精神保健福祉士等）にも参加していただき地域のネットワークの拡大とともに地域のニーズや地域資源を把握し連携を強化してまいりました。

・認知症見守りネットワークについても、岩崎地域ケアプラザケアマネ連絡会や民児協等地域の集まり等に参加させていただいた際に見守りネットワークの紹介、ご説明をさせていただき、周知してまいりました。今年度も引き続き地域の民生委員、地域のケアマネジャーから、見守りネットワークへの登録依頼、問い合わせが増えてきています。

・地域とのネットワークの構築がより進んできており、今年度も地域からの出張講座、出張相談等の依頼が増えて来ています。生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターと連携し、個別相談の分析や、地域からの情報、要請を受け、介護予防、認知症等の出張講座、出張相談会等共催で行ってまいりました。又、地域の事業の立ち上げについては、包括3職種、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターと連携共催し岩崎地域ケアプラザで行っていた事業を地域で行い自主化へ向けて活動しています。

② 実態把握

・今年度も、区カンファ、所内5職種会議等で総合相談について、相談の傾向等分析を行うとともに、5職種連携し、民児協、ほっとなまちづくり、各地区定例会、老人会等地域の事業に参加した際、地域の方より直接ふだんの困りごとと地域の実態を把握するとともに、岩崎地域ケアプラザケアマネ連絡会、介護予防連絡会、ボランティア連絡会、ゆったりサロン（介護者の集い）等を通し圏域の情報を把握してきました。今まで同様、認知症、精神疾患、独居、高齢者ご夫婦世帯が多い現状です。又、地域のカフェやサロンに参加させていただきミニ講座等行うなどして参りました。今後も、地域のカフェ、サロンに参加しケアプラザの周知、認知症、精神疾患の方に対する理解、対応、普段の見守りの普及啓発等の講座を行って行きます。

③ 総合相談支援

・今年度も引き続き、個別相談に対し、5職種会議、区および区社協とのカンファレンスでの情報共有、必要時には随時お互いに情報共有を図りながら3職種のみならず5職種連携して適切な対応、支援を行ってまいりました。又、区とのカンファレンスにて相談の傾向等、整理分析し地域ケア会議や、地域の講座などにつなげてまいりました。特に困難事例と思われるケースについては、5職種及び区と緊密に情報共有し、継続的ななかかわり、それぞれの職種ごとの役割分担とともにお互い連携を図りながら、継続的な関わりを持ち具体的な支援に結び付けてこられています。又、緊急対応が必要なケースにつきましても5職種及び区と連携し迅速な対応が出来ました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

①9月、11月、12月、2月と行政書士による権利擁護相談会を実施し、延べ4名の方が相談に参りました。地域の方の相談と個別相談よりあがった権利擁護にまつわる相談に対しそれぞれ専門職の先生方に助言を頂きました。また、その助言を踏まえ関係機関との連携を行いました。また、個別相談では後見制度等に関する面談での相談を7件（実数）承りました。内、申立支援2件（進行中のもの含む）行い、1件に後見人が選定されました。

②3月に地域交流と共催にて権利擁護講座「知っておきたい遺言と相続」を実施しました。

③地域で行っている会合等で消費者被害の講座を実施しました。また地区センターなど人が集まるところで消費者被害のチラシなどを配り被害の未然防止に努めました。

また実際に消費者被害の相談が入った際には早急にその対応と、所内や関係機関に報告をし、その後の未然防止に努めました。

② 高齢者虐待への対応

①地域のイベントやカフェ、出張相談等で介護について話しやすい環境を設けるとともに、相談窓口が記載されているチラシ（認知症関連、がんばり過ぎない介護）などで普及啓発に努めました。また、所内の身体拘束委員から虐待の視点を踏まえた話し合いの場を設けました。

②介護者のつどいを8回開催いたしました。集客が次年度の課題と考えています。

③区カンファで区、区社協と情報を共有し、必要に応じて支援者間の会議を行うなど個人を取り巻く関係機関との連携に努めました。

③ 認知症

①キャラバンメイトの定例会に5職種で関わり、自主的な活動を行っていただくための支援を行いました。またキャラバンメイトが主催となった講座を開催していただくことができました。また認知症サポーター養成講座4回の開催のうちキャラバンメイトに3回協力をいただきました。講座の中にグループワークを盛り込むことを行いました。地域向けの講座の開催は7月に実施いたしました。2月にサポーター養成講座を受講した方を対象にフォローアップ研修を行いました。

②区役所の認知症担当者部会を通じ、育生会病院にて認知症講座を開催しました。また4月に開催した包括域の地域ケア会議（見守り会議）や区主催のSOS連絡会、様々な連携会議等にて区内の関係機関と交流を持ち、認知症の見守りについての取組みを共有することができました。SOSネットワークの構築に関しては認知症関連の講座等地域で行うときは必ず保土ヶ谷区のSOSネットワークのリーフレットを持参し説明するよう努めました。若年性を含め、認知症への理解を広めることで支えあえる地域づくりを目指しています。

③見守り会議で話し合われたことを生活支援、地域交流のコーディネーターを通じ参加事業所や地域に報告を重ね、地域に対して見守りの意識を高めることができました。今後もほっとなまちづくりの支援チームや5職種それぞれの事業を通じ多角的に地域のネットワークの構築を目指していきます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

・今年度も総合相談に対し必要に応じ地域の民生委員、区と連携し対応支援してまいりました。独居世帯、高齢者世帯、認知症、精神疾患が疑われる方に対しては、5職種連携し迅速な対応をしてまいりました。又、地域の民生委員からの相談、情報提供があった際には、区とも連携しながら迅速に対応しその結果を相談者にお返しし、地域の民生員の方々との連携を図ってきました。又、地域のケアマネジャーや、介護事業所からの相談、情報提供に対しても、必要に応じ、個人情報等に気をつけながら、民生委員、ケアマネジャー、介護事業所と連携して対応してきました。

これらの相談の傾向を踏まえ、地域ケア会議を開催し地域の方々、事業者、ケアマネジャー、医療関係者、法律関係者（行政書士）などにも参加していただき地域課題について意見交換、検討が出来連携が強化されています。今年度も今まで積み重ねてきた個別地域ケア会議から共通した課題について生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターとともに包括域地域ケア会議を開き包括域の方々との意見交換、検討し連携を図るとともに、今後につなげていければと思います。

・今年度も、5職種共催にて、自主事業のリーダー、地域のケアマネジャーの方々に参加していただき、介護予防連絡会、ボランティア連絡会を開催し、情報共有、連携

の強化がより図れました。又、それぞれの連絡会等で得られた地域のインフォーマルサービスについて、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターとともにインフォーマルサービス情報一覧を更新し、総合相談、地域の方々、ケアマネジャーからの問い合わせに対応してきました。

・認知症見守りネットワークにつきましては、それぞれの連絡会、各地区民児協、連町定例会、地域のサロン、カフェ、地域密着型サービスの運営推進委員会など様々な機会に紹介説明をさせて頂き、登録依頼、問い合わせが増えてきています。今後も、様々な機会に紹介説明していきます。

② 医療・介護の連携推進支援

・区内7包括、区、区社協、保土ヶ谷区医師会在宅利用相談室と共催で行った多職種連携会議に際し、エリア内の医療機関、事業所に訪問し、連携強化が図れました。又、多職種連携会議を通し、地域の医療機関、ケアマネジャー、介護事業者と情報共有、連携を深められました。今後も、様々な機会に医療機関の方々に参加していただけるような関係づくりを行って行きたいと思っております。

・総合病院のケースワーカーとも個別の相談等含め常に連携を図りました。

・区ケアマネットで「医療機関との上手な連携を取る為に」、区内7包括合同ケアマネ連絡会で「デスエデュケーション・グリーンケア」として在宅診療医との連携を、区ケアマネットで「訪問看護師とケアマネジャー 何でも話せる関係作り」として訪問看護師とケアマネとの連携を図ってきました。

・今年度も区内7包括社会福祉士と区共催で、育生会横浜病院で認知症講座を開催し地域の方含め病院との連携を図りました。

・地域ケア会議にも医師、訪問看護事業者、精神科訪問看護事業者に参加頂き意見交換、連携の強化が図れました。

・その他、総合相談、介護予防支援のなかでも、必要時医療機関等関係機関と連携し対応してきました。

③ ケアマネジャー支援

・地域の居宅介護事業所への訪問や来所時に困難事例等ケアマネジャーからの相談に対し、助言、同行訪問、カンファレンス開催、ケアマネジメント等についてのアドバイス、指導などしてきました。又、ケアマネジャーから担当者会議、カンファレンス等参加依頼があった際には日程調整がつく限り参加させて頂き、ケアマネジメント等についてのアドバイス、指導をしてきました。これらの相談の傾向を踏まえ地域ケア会議での検討もしてきました。

・困難事例等ケアマネジャーより民生委員と連携して対応していきたい、連携の必要がある等の際には、地区担当の民生委員との顔つなぎ、必要時には同行訪問し連携を図ってきました。

・区内7包括合同ケアマネ連絡会を計12回（うち主マネ対象3回）開催し、地域のケアマネジャーのスキルアップを図ってきました。

・保土ヶ谷ケアマネット役員会に出席し、年間活動内容、研修内容等の検討支援を行ってきました。

・岩崎地域ケアプラザケアマネ連絡会にて「精神障害の本人家族の支援について」、及び、「介護予防従事者研修（初級編）」開催し地域のケアマネジャーのスキルアップを図ってまいりました。

・区内7包括合同ケアマネ連絡会、主任ケアマネ連絡会を開催し講座、グループワークを通しケアマネジャーのスキルアップに努めてきました。

・区内7包括で新任・就労予定ケアマネジャー研修を実施しました。参加ケアマネジャーの2名については、実習も担当させて頂き、ケアマネジャーとしての心構え等についてアドバイスしてきました。

・地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターとインフォーマルサービス一覧を更新、地域のケアマネジャーからインフォーマルサービスについての問い

合わせがあった際活用してきました。今後も、一覧のアップデートをしていきます。
・上記の活動により、より地域のケアマネジャーさんたちが気軽に相談に来て頂ける雰囲気づくりが出来ているのではと思っています。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

・個別地域ケア会議3回、包括域地域ケア会議1回開催し、医療機関、訪問看護師（精神）、介護事業所、地域のケアマネジャー、地域の民生委員等に参加いただき、総合相談、ケアマネジャーからの相談、地域の事業等へ参加の際に得られた情報を参考に「精神障害の本人、家族の支援について」検討し、多職種の連携を図ってきました。今後も、精神疾患、認知症等の方の早期発見対応等を目的とした地域の見守り、関わりについてインフォーマルサービスの活用等含め検討していければと思っています。そのなかで新たなニーズの発見にもつなげていきたいと思っています。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

岩崎地域ケアプラザケアマネ連絡会で「介護予防従事者研修（初級）」として地域の新任ケアマネジャー対象で「介護予防支援受託業務の流れ～請求業務について」、「自立支援の考え方」「介護予防プラン、評価表の作り方～自立支援を踏まえて～」「インフォーマルサービスについて」として介護予防ケアマネジメントの基本について勉強会を開催し、インフォーマルサービスも踏まえ、住み慣れた地域の中で、ご本人らしい生活の維持・向上が図れるよう自立に向けた介護予防ケアマネジメントの必要性を伝えていきました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

5 職種が適宜情報交換・連携を行い保土ヶ谷地区に介護予防講座を開催、今後の自主活動グループ立ち上げの土台を築くきっかけ作りを行いました。また、昨年度に引き続き霞台老人クラブではグループ立ち上げに向けた介護予防講座を開催、自主化に向けた関わりを継続することが出来ました。生活支援・地域交流と連携し自主活動グループ・ボランティアグループ等を集め介護予防連絡会を開催しました。年間を通してグループ支援、きらり☆シニア塾周知・拡大のきっかけづくりを生活支援・地域交流と行って来ました。

5 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・施設を快適に安心して利用して頂けるよう、毎月の施設点検日(原則第4月曜日)に館内清掃・電気設備・空調設備、自動ドア・エレベーターの保守点検等を定期的に変更しました。
- ・上記以外に法令、規則等で定められている保守点検である消防設備・害虫駆除等を適切に変更しました。
- ・建築基準法12条に基づき、自主点検により破損・汚損の発見に努めます。また、横浜市（委託点検業者）による「公共建築物劣化調査・点検」を実施しました。

- ・各点検にて不具合が確認された場合は、区役所に報告の上、迅速な保全を行いました。
- ・施設周辺の清掃、植栽などの環境美化に関しましては、職員及びボランティアの協力により実施管理しました。
- ・日常的な館内清掃、消耗品の補充・管理は、職員により随時実施しました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ケアプラザの5部門（地域包括支援センター・地域活動交流・生活支援体制整備・居宅介護支援・通所介護）が連携することにより、地域における子どもから高齢者・障害者などの様々なニーズを把握し、解決に向けた事業展開を図りました。
- ・所内回覧、朝ミーティング・各部門での会議・運営委員会・職員会議等をとおして職場内での情報共有を図りました。
- ・職員、利用者に年間の光熱水使用状況を広報し、エネルギー資源の節減、プラスチック・紙資源のリサイクル等に取り組みました。
- ・施設運営に関しては、法人本部と連携して業務分担を行い事務作業の効率化・物品購入等のコスト削減を図りました。
- ・地域との信頼関係が保てる安定した職員体制の維持・継続を図りました。

(3) 苦情受付体制について

- ・利用者等から申し出があった場合、その解決のための体制・方法を定め、苦情等を放置することなく、公平・中立な立場から迅速かつ適正な解決を図りました。
- ・苦情受付担当者、責任者、第三者委員を明示した案内、「ご意見ダイヤル」のポスターを館内に掲示して、利用者が苦情をプラザや関係機関に伝える仕組みをお伝えしています。
- ・居宅介護支援事業で1件の苦情があり、責任者による迅速かつ適切な対応を行った後に、第三者委員へ報告、確認の上で館内に報告書の掲出を実施しています。
- ・ご意見箱を常設し、ご意見、苦情をはじめプラザに対しての申し出をしやすい場所である2階ロビーに設置しています。
- ・ご意見、苦情等の記入用紙を部屋利用時に使用する各利用団体登録ファイルに添付しています。
- ・職員会議等において、ご意見・苦情の受付について報告し、利用者からの日常生活における身近な疑問、気にかけていることや、プラザの施策に対する要望等の情報共有を図りました。
- ・年1回利用者アンケートを実施し、結果及びご意見等を2階ロビーに閲覧用で配架しています。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・万が一の災害の発生に備え、マニュアルの整備・緊急時の対応について日頃より意識の向上を図り、常に緊急時の対応ができるように努めました。
- ・近隣地域の防災訓練・防災拠点での訓練に参加することにより、地域との協力体制が取れるよう体制づくりに取り組みました。
- ・消防計画に基づき年2回以上、貸し館利用者・通所介護利用者も参加し、避難訓練・消火訓練・通報訓練・AED取り扱いなどの訓練を実施しました。
- ・特別避難場所として、要援護者の受け入れをおこなうための備蓄物資の管理を行います。また、近隣の方への周知を行うため、館内に特別避難場所の説明及び備蓄物資一覧を掲出しました。
- ・災害時の連絡手段を確保する為に、携帯電話の災害時優先電話を用意しています。
- ・開館、閉館時には職員が館内外の異常有無の点検を行っています。
- ・閉館後は、機械警備にて館内の防犯を実施しています。また、近隣に公園がある為、

近隣の交番にパトロールなどの協力をお願いしています。

- ・閉館時など緊急・災害時には、緊急連絡網により職員間で連絡が取れる体制を整えています。
 - ・認知症などの徘徊対応として、保土ヶ谷区SOSネットワーク事業実施による関係機関との協力・見守り体制の構築に取り組みました。
- 平成29年度の事前登録者は11名（延べ人数37名） 協力依頼は7件でした。

(5) 事故防止への取組について

- ・日常業務にてヒヤリハット・事故が発生した場合速やかに上長へ報告し、事故再発防止にむけて、事故予防対策委員会にて対処策を検討しました。
- ・年1回設備・職員の業務姿勢などについて全職員を対象にヒヤリハットアンケートを実施、全体職員会議で結果報告を行い、事故予防の意識を共有化しました。
- ・通所介護事業課に関しては、朝、夕にミーティングを行い、利用者情報を共有すると共に事故が発生しないよう処遇の確認を行い、事故防止に努めました。
- ・万が一、事故が発生した場合は、生命を第一とした応急措置、救護、関係機関への通報を行い、速やかに所轄する行政に報告しています。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・年1回以上職員に対して個人情報の取り扱いについての研修実施、新規雇用時に研修を実施し、個人情報保護に関する誓約書を区役所へ提出しました。
- ・職員全体会議等で個人情報取り扱い自己チェックアンケートを実施し、集計結果を基に各部門で再度検証し、意識の向上と注意喚起を図りました。
- ・個人情報の含まれた書類・ノートパソコンは鍵の付いた書庫に保管しています。
- ・個人情報をFAXする場合は、必要なマスキングを実施し送信先は2人で確認、郵送の場合は、郵送先の確認・内容の確認・封入作業まで2人で確認を行っています。
- ・通所介護事業課に関しては、連絡帳は袋・内容物・カバンを2人で確認後に返却しています。又、請求書などは基本的に家族様へ手渡しとしています。
- ・万が一、個人情報漏洩に関する事務処理ミスが発生した場合には、速やかに所轄する行政へ報告しています。
- ・毎朝のミーティングで個人情報の取り扱いについて注意喚起をしています。

(7) 情報公開への取組について

- ・基本的に個人情報以外の情報は公開するという姿勢で事業を行いました。
- ・ケアプラザの情報は、広報紙「星」・保土ヶ谷区の広報・ほっとなタウンマップ・自治会の掲示板等を活用し、地域住民の方へ情報提供をしました。
- ・その他の情報公開として、事業計画・事業報告・決算書・利用者アンケート・介護保険関係の契約書、運営規定等も公開しています。
- ・法人のホームページでは、関係施設の決算書などの公表も行っていきます。
- ・通所介護事業・居宅介護支援事業については、本年度も介護サービス情報の公表を9月に実施しています。

(8) 人権啓発への取組について

・私たちの社会には、女性や子ども、高齢者、障害者に対する差別や暴力・虐待、同和問題や民族・人種、疾病、職業による差別など、人権に関わる様々な問題があります。そして、社会情勢の変化とともに、人権をめぐる問題は複雑化・多様化しており、新たな課題も生じています。性別や年齢、障害の有無や国籍にとらわれることなく、誰もが互いに多様な個性を尊重しあい、自らが多様な力を発揮し、ともに生きる社会の実現をめざす施策を推進しました。

横浜市の、「一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」の実現のために、人権尊重を基調とした運営、すなわち、ケアプラザ職員一人ひとりに人権を尊重する意識と、豊かで鋭い人権感覚が求められます。職員には研修をとおして、人権に関する幅広い知識を身につけ、人権感覚を高めて、地域へ人権尊重の重要性とその侵害の重大性について理性と感性の両面から理解を深めもらうよう人権啓発事業を実施しました。

・職員は日頃から自己研鑽に努め、人権感覚を磨いていくことが求められます。また、差別や暴力・虐待など人権を侵害する行為が人をどんなに深く傷つけるか、自分自身の問題として捉えるとともに、人権を侵害する行為をなくすという明確な目的意識を持つことに努めました。

人権啓発は市民一人ひとりの心のあり方に関わる問題でもあることから、その自主性を尊重しつつ、地域とともに一緒に考えるという基本姿勢に立ち、主体性を持って、粘り強く取り組みました。

・人権を守るための手法に係る啓発、男女共同参画に関する啓発・DVの防止のための啓発、子どもの権利条約に関する啓発、児童虐待防止に関する啓発、高齢者虐待防止に関する啓発、認知症を正しく理解するための啓発、障害と障害児・者に対する理解を深めるための啓発などを相談窓口対応、講座、広報紙により情報啓発しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

・横浜市の作成した「地域ケアプラザ省エネ運用マニュアル」に基づき、節電対策として、冷房28℃暖房20℃の適正設定、不要な照明の消灯・抜去、パソコン・FAX等使用しない時は電源を落とす又は省エネモード設定を実施し、待機電力の管理を実施しました。

・ごみゼロ推進員を職員より選出し、ごみゼロルート回収の手引きに基づいたゴミの分別・リサイクルを行い排出量削減に取り組みました。

・紙資源の有効活用としてコピー用紙は外部に提出するもの、保存を要する物以外は原則両面使用し、内部資料として用いるものは両面使用か裏紙使用に努めました。

・再生プラスチック原料として、またゴミとして焼却した場合のCO₂発生の抑止としてペットボトルのキャップ回収事業にも取り組みました。

・横浜市再生可能エネルギー設備の導入による災害時のエネルギー対策と平常時の省エネを推進する事業のもと、太陽光パネルと蓄電池の管理を実施しています。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 看護師 2名（常勤兼務）
- ・ 主任介護支援専門員 1名（常勤兼務）
- ・ 社会福祉士 1名（常勤兼務）
- ・ 介護支援専門員 1名（常勤兼務）
- ・ 事務員 1名（非常勤）

《目標に対する成果等》

要介護認定の結果、要支援1, 2と認定された方への介護予防ケアプラン、平成28年1月から介護予防ケアマネジメントへ移行された方へのケアプランを作成するとともに、地域のケアマネジャーさんに予防介護支援及び介護予防ケアマネジメント業務を委託し、ケアプラン等への助言、確認をしてまいりました。利用者様の主体的な目標設定により支援計画を作成するとともに、目標達成に向けた介護保険サービスのみならず、インフォーマルサービスを利用することで、住み慣れた地域の中で、ご本人らしい生活の維持・向上が図れるよう支援してまいりました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

3職種、プランナー及び関係機関と連携を図りながら適切なプランを作成しました。必要に応じて、地域交流コーディネーター、生活支援コーディネーターに相談しながら、インフォーマルサービス、地域資源の活用なども取り入れたプランを作成しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
334	343	340	339	341	339
10月	11月	12月	1月	2月	3月
343	347	347	342	350	367

●居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 主任介護支援専門員 3名（常勤専従） 1名（常勤兼務）

《目標に対する成果等》

- ・ 居宅サービス計画書作成にあたり、利用者の心身の状況・生活環境などに
 応じて、ご本人が自立した生活が送れるよう、関係機関と連携を図りながら
 適切なプランを作成しました。
- ・ 利用者、ご家族様への丁寧な対応を心がけ、信頼できる事業所を目指しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 実費負担なし。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 特定事業所加算Ⅲを算定。主任介護支援専門員4名を配置しました。
- ・ 地域包括支援センターと連携し、困難ケースへの対応に取り組みました。
- ・ 24時間の連絡体制を取り、利用者やご家族からの相談、連絡を受け付けました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
82	84	88	91	82	79
10月	11月	12月	1月	2月	3月
76	77	77	70	72	71

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 食事
- 入浴
- 生活リハビリ
- 個別機能訓練（希望者のみ）

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 704円
 - （要介護3） 963円
 - （要介護5） 1227円
 - （要介護2） 831円
 - （要介護4） 1095円
- 食費負担 800円
- サービス提供体制加算 20円
- 中重度者ケア体制強化加算 49円
- 介護職員処遇改善加算 総単位数の1000分の23に相当する単位
- 入浴加算 54円
- 個別機能訓練加算 60円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:00 ~ 17:00（半角で入力 例9:00~15:00）

《職員体制》

- 管理者・・・1名
- 介護職・・・15名
- 運転手・・・1名
- 調理員・・・3名
- 生活相談員・・・4名
- 看護師・・・4名
- 栄養士・・・1名

《目標に対する成果等》

ご利用者の人数の安定を図り、安定した運営が行えるようにします。また、ご家族様・ご本人様の要望から、臨時でのご利用に対して積極的に受け入れを行います。ご利用者様の状態を把握し、身体状況の維持・向上、自立した生活、安定した生活を送ることが出来るよう、介護支援専門員や他事業所と綿密に連携を図ります。また、個別機能訓練では希望者対象にご家族様・ご本人様の要望に沿った目標を立て、それに基づいたプログラムを作成し個別メニューで実施します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

天井が高く広々とした空間の中に窓が多くある為、明るくアットホームな雰囲気味わえます。行事等も広いスペースを利用し、盛大な雰囲気の中で行えます。食事は全て当施設で直接仕入れた新鮮な野菜・肉・魚を使用し、季節感を味わえるようなメニューで冷凍食品は使用しておりません。数種類の出し汁を使用し、手間隙かけたお食事を提供しています。

《利用者実績（延べ人数）》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
575	609	593	617	615	563
10月	11月	12月	1月	2月	3月
564	522	491	467	473	557

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 食事
- 入浴（希望者のみ）
- 生活リハビリ

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （事業対象者） 1766円
 - （要支援1） 1766円
 - （要支援2） 3621円
- 食費負担 800円
- サービス提供体制加算
 - （要支援1） 78円
 - （要支援2） 155円
- 介護職員処遇改善加算 総単位数の1000分の23に相当する単位

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:00 ~ 17:00 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

- 管理者 1名
- 介護職員 15名
- 運転手 1名
- 調理員 3名
- 生活相談員 4名
- 看護師 5名
- 栄養士 1名

《目標に対する成果等》

利用者の人数の安定を図り、安定した運営が行えるようにします。また、ご家族様・ご本人様の要望から、臨時でのご利用に対して積極的に受け入れを行います。ご利用者様の状態を把握し、身体状況の維持・向上、自立した生活、安定した生活を送ることが出来るよう、介護支援専門員や他事業所と綿密に連携を図ります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

天井が高く広々とした空間の中に窓が多くある為、明るくアットホームな雰囲気が味わえます。行事等も広いスペースを利用し、盛大な雰囲気の中で行います。食事は全て当施設で直接仕入れた新鮮な野菜・肉・魚を使用し、季節感を味わえるようなメニューで冷凍食品は使用しておりません。数種類の出し汁を使用し、手間隙かけたお食事を提供しています。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
16	15	16	16	17	19
10月	11月	12月	1月	2月	3月
18	19	16	16	17	19

平成29年度「横浜市岩崎地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,239,344	△ 296,767	15,942,577	15,942,577	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	117,000	△ 117,000	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	34,065	△ 34,065	
印刷代	0		0	4,230	△ 4,230	
自動販売機手数料	0		0	22,865	△ 22,865	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	6,970	△ 6,970	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	45,156		45,156	45,156	0	
収入合計	19,872,000	△ 296,767	19,575,233	19,726,298	△ 151,065	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,900,000	0	10,900,000	10,374,265	525,735	
本俸	6,600,000		6,600,000	6,948,165	△ 348,165	
社会保険料	1,000,000		1,000,000	799,234	200,766	
手当計	3,062,000		3,062,000	2,485,089	576,911	
健康診断費	53,000		53,000	0	53,000	
勤労者福祉共済掛金	31,800		31,800	31,800	0	マニマニ基金
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	93,214	6,786	
その他	53,200		53,200	16,763	36,437	
事務費	1,034,000	0	1,034,000	1,383,661	△ 349,661	
旅費	15,000		15,000	4,650	10,350	
消耗品費	66,000		66,000	82,165	△ 16,165	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	132,000		132,000	175,711	△ 43,711	
通信費	272,000		272,000	282,072	△ 10,072	
使用料及び賃借料	0	0	0	19,200	△ 19,200	
横浜市への支払分	0		0	19,200	△ 19,200	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	586,979	△ 586,979	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	105,000		105,000	0	105,000	
職員等研修費	10,000		10,000	8,502	1,498	
振込手数料	75,000		75,000	46,750	28,250	
リース料	235,000		235,000	13,818	221,182	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	124,000		124,000	163,814	△ 39,814	
事業費	392,000	0	392,000	430,039	△ 38,039	
運営協議会経費	42,000		42,000	9,315	32,685	予算・指定額
指定管理料充当 事業	350,000		350,000	420,724	△ 70,724	
管理費	6,674,000	131,160	6,805,160	5,108,317	1,696,843	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	4,700,000	0	4,700,000	3,568,748	1,131,252	
電気料金	1,457,000		1,457,000	1,199,099	257,901	
ガス料金	1,269,000		1,269,000	913,600	355,400	
水道料金	1,974,000		1,974,000	1,456,049	517,951	
清掃費	539,000		539,000	538,999	1	
修繕費	474,000	131,160	605,160	177,233	427,927	予算・指定額
機械整備費	111,000		111,000	110,657	343	
設備保全費	815,000	0	815,000	712,680	102,320	
空調衛生設備保守	624,000		624,000	271,387	352,613	
消防設備保守	43,000		43,000	43,002	△ 2	
電気設備保守	76,000		76,000	76,257	△ 257	
害虫駆除清掃保守	19,000		19,000	19,112	△ 112	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	53,000		53,000	302,922	△ 249,922	
共益費	0		0	0	0	
その他	35,000		35,000	0	35,000	
公租公課	872,000	0	872,000	829,941	42,059	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	872,000		872,000	829,941	42,059	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
リース対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	19,872,000	131,160	20,003,160	18,126,223	1,876,937	
差引	0	△ 427,927	△ 427,927	1,600,075	△ 2,028,002	

自主事業費収入	350,000		350,000	0	350,000	予算・指定管理料を含む
自主事業費支出	350,000		350,000	420,724	△ 70,724	
自主事業収支	0	0	0	△ 420,724	420,724	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	22,865	△ 22,865	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	19,200	△ 19,200	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	3,665	△ 3,665	

**平成29年度「横浜市岩崎地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	40,162,000	△ 491,753	39,670,247	39,670,247	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 91,364	5,697,636	5,697,636	0	横浜市より
利用料金収入						この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	2,626	△ 2,626	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	23,700	△ 23,700	
自主事業収入						この列は入力しない
雑入	0	0	0	1,781	△ 1,781	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	1,781	△ 1,781	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	46,102,000	△ 583,117	45,518,883	45,546,990	△ 28,107	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	40,486,000		486,000	32,005,711	8,480,289	
本俸	22,267,000		267,000	16,654,658	5,612,342	
社会保険料	4,049,000		49,000	3,994,965	54,035	
手当計	13,360,000		13,360,000	10,746,169	2,613,831	
健康診断費	45,000		45,000	0	45,000	
勤労者福祉共済掛金	48,000		48,000	39,900	8,100	ひまふれんど
退職給付引当金繰入額	717,000		717,000	519,731	197,269	
その他	0		0	50,288	△ 50,288	
事務費	2,490,000		490,000	2,112,445	377,555	
旅費	80,000		80,000	35,952	44,048	
消耗品費	665,000		665,000	36,332	628,668	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	130,000		130,000	58,417	71,583	
通信費	400,000		400,000	246,663	153,337	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	165,000		165,000	0	165,000	
職員等研修費	45,000		45,000	85,998	△ 40,998	
振込手数料	70,000		70,000	47,138	22,862	
リース料	65,000		65,000	36,931	28,069	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	870,000		870,000	1,565,014	△ 695,014	
事業費	1,340,000	0	1,340,000	747,060	592,940	
協力医	630,000		630,000	252,000	378,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	250,000		250,000	33,038	216,962	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		51,000	150,644	356	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		99,000	311,378	△ 2,378	予算:指定額
管理費	1,786,000		66,000	1,323,035	462,965	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	1,260,000	0	1,260,000	948,654	311,346	
電気料金	390,600		390,600	318,747	71,853	
ガス料金	340,200		340,200	242,856	97,344	
水道料金	529,200		529,200	387,051	142,149	
清掃費	193,000		193,000	143,277	49,723	
修繕費	126,000		126,000	12,247	113,753	予算:指定額
機械警備費	29,000		29,000	29,415	△ 415	
設備保全費	158,000	0	158,000	189,442	△ 31,442	
空調衛生設備保守	42,000		42,000	72,140	△ 30,140	
消防設備保守	11,000		11,000	11,430	△ 430	
電気設備保守	20,000		20,000	20,270	△ 270	
害虫駆除清掃保守	5,000		5,000	5,080	△ 80	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	80,000		80,000	80,522	△ 522	
共益費	0		0	0	0	
その他	20,000		20,000	0	20,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	46,102,000	0	46,102,000	36,188,251	9,913,749	
差引	0	△ 583,117	△ 583,117	9,358,739	△ 9,941,856	

自主事業費収入	710,000			26,326		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	710,000			495,060		
自主事業収支	0			△ 468,734		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

<考え方の説明(精算書との相違点)>

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市岩崎地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
収入	介護保険収入	2515311	15343075	68690829	5362303
	その他	3896162	382860	6447000	452000
	介護予防ケアマネジメント 費	3896162			
	事業・負担金収入				
	受託収入		382860		
	食費収入			5820800	452000
	その他			626200	
	収入合計(A)	6411473	15725935	75137829	5814303
支出	人件費	4606435	17132149	66361011	5148699
	事務費	611599	1208085	2733594	212089
	事業費	0	0	5147354	399364
	管理費	64427	1712016	7812109	606112
	その他	990000	0	789000	0
	利用者負担軽減額				
	消費税				
	介護予防プラン委託料				
	車輛購入費	990000			
	修繕積立金			789000	
その他					
支出合計(B)	6272461	20052250	82843068	6366264	
収支 (A) - (B)	139012	-4326315	-7705239	-551961	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **岩崎地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ケアマネ連絡会	①地域のケアマネジャー	0	地活						
	②55名		包括	0	0	0	0	0	0
	③無料		生活						
区内7包括主マネ共催 合同ケアマネ連絡会	①地域のケアマネジャー	7,250	地活						
	②484名		包括	0	0	0	0	0	7250
	③無料		生活						
キャラバンメイト連絡会	①地域住民	0	地活	0					
	②51名		包括	0	0	0	0	0	0
	③無料		生活	0					
認知症サポーター養成講座	①地域住民	0	地活	0					
	②306名		包括	0	0	0	0	0	0
	③無料		生活	0					
出張相談	①地域住民	0	地活						
	②24名		包括	0	0	0	0	0	0
	③無料		生活						
ゆったりサロン「介護者のつどい」	①地域住民	15834	地活						
	②57名		包括	0	0	0	0	0	15834
	③無料		生活						
出張講座	①地域住民	15500	地活	0					
	②673名		包括	15500	0	0	8000	7500	0
	③無料		生活	0					
芝桜の会介護予防講座	①地域住民	22,957	地活	0					
	②38名		包括	22957	0	0	16000	5837	1120
	③無料		生活	0					
さつき会介護予防講座	①地域住民	34,240	地活						
	②110名		包括	34240	0	0	32000	0	2240
	③無料		生活						
さくらコスモスの会体力測定	①地域住民	8560	地活	0					
	②38名		包括	8560	0	0	8000	0	560
	③無料		生活	0					
ちくちくサロン	①地域住民	15741	地活	0					
	②77名		包括	0	0	0	0	9021	6720
	③無料		生活	15741					
おりがみサロン	①地域住民	27290	地活	0					
	②101名		包括	0	10100	0	0	7544	19746
	③100円(1回)		生活	17190					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **岩崎地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
玄米ダンベル体操講座	①地域住民	115756	地活	0	13600	0	96000	0	19756
	②136名		包括	0					
	③100円(1回)		生活	102156					
ダウン症の会	①ダウン症の子と保護者	67,791	地活	51591	16200	0	60132	0	7659
	②162名(81組)		包括	0					
	③200円(1組)		生活	0					
こどもランド	①未就園児の子と保護者	30184	地活	30184	0	0	10023	6021	14140
	②229名		包括	0					
	③無料		生活	0					
イスと体操	①地域住民	130189	地活	95489	34700	0	115253	0	14936
	②347名		包括	0					
	③100円(1回)		生活	0					
大人のヨガ教室	①地域住民	50916	地活	44716	6200	0	45099	0	5817
	②31名		包括	0					
	③200円(1回)		生活	0					
リズムあそび	①未就園児の子と保護者	91902	地活	72102	19800	0	72162	2340	17400
	②132名(66組)		包括	0					
	③300円(1組)		生活	0					
豆腐販売	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②100名		包括	0					
	③無料		生活	0					
わくわく体操×とくトーク講座	①地域住民	2940	地活	2940	0	0	0	0	2940
	②96名		包括	0					
	③無料		生活	0					
権利擁護相談会	①地域住民	4000	地活	0	0	0	0	0	4000
	②4名		包括	0					
	③無料		生活	0					
はつらつ教室	①地域住民	47873	地活	0	0	0	32000	7813	8060
	②101名		包括	47873					
	③無料		生活	0					
おしえて幼稚園のこと	①未就園児の子と保護者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②30名		包括	0					
	③無料		生活	0					
ほっふレンズ2017夏 ボランティア研修・説明会・夏祭り	①学齢障がい児	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②58名		包括	0					
	③無料		生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

岩崎地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
スカイダックに乘ろう	①学齢障がい児と保護者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②9名		包括	0					
	③無料		生活	0					
小学生向け夏休み企画 夏休み銅版工芸教室	①近隣の小学生と保護者	3901	地活	3901	0	0	3341	0	560
	②12名		包括	0					
	③無料		生活	0					
傾聴講座～ボラスキル向上講座～	①地域住民	24,604	地活	0	0	0	16704	0	7900
	②30名		包括	0					
	③無料		生活	24604					
岩崎エリア公園あそび	①未就園児の子と保護者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②58名		包括	0					
	③無料		生活	0					
生活支援スキル取得講座	①地域住民	35117	地活	0	0	0	26727	0	8450
	②12名		包括	0					
	③無料		生活	35117					
桜の木体操クラブスキルアップ研 修	①地域住民	8560	地活	0	0	0	8000	0	560
	②9名		包括	8560					
	③無料		生活	0					
プラザまつり	①地域住民	41063	地活	963	0	40100	0	41063	0
	②800名		包括	0					
	③無料		生活	0					
健康イベント	①地域住民	12954	地活	0	0	0	8000	4954	0
	②86名		包括	12954					
	③無料		生活	0					
学齢障がい児余暇支援事 業 ダンス発表・交流会	①学齢障がい児	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②52名		包括	0					
	③無料		生活	0					
ほどがや区民まつりの参加	①地域住民	1194	地活	1194	0	0	0	1194	0
	②150名		包括	0					
	③無料		生活	0					
初音が丘小学校3年1組総合 学習～高齢者・福祉について 考えよう～	①初音が丘小3-1生徒	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②156名		包括	0					
	③無料		生活	0					
初音ヶ丘地区センターまつり出張相談	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②67名		包括	0					
	③無料		生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

岩崎地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
区内病院認知症講座	①地域住民	0	地活						
	②35名		包括	0	0	0	0	0	0
	③無料		生活						
認知症サポーター フォローアップ研修	①地域住民	5254	地活	0					
	②6名		包括	2628	0	2626	0	0	5254
	③無料		生活	0					
知っておきたい遺言と相続	①地域住民	0	地活	0					
	②5名		包括	0	0	0	0	0	0
	③無料		生活						
救急法講座	①地域住民	644	地活	644					
	②3名		包括	0	0	0	0	0	644
	③無料		生活	0					
部屋利用説明・交流連絡会	①CP貸室団体代表者等	0	地活	0					
	②31名		包括	0	0	0	0	0	0
	③無料		生活	0					
ほっとフレンズ2018春ボラ ンティア研修・説明会・運動 会	①学齢障がい児	0	地活	0					
	②59名		包括	0	0	0	0	0	0
	③無料		生活	0					
多職種連携全体会	①地域の医療関係者、介護関係者	0	地活	0					
	②226名		包括	0	0	0	0	0	0
	③無料		生活	0					
区内7包括主マネ共催 合同主任ケアマネ連絡 会	①地域の主任ケアマネジャー	700	地活	0					
	②88名		包括	0	0	0	0	0	700
	③無料		生活	0					
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネ連絡会	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のケアマネジャー対象の研修会を開催しスキルアップとともに連携を図る <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のケアマネジャーに参加していただき、6月は、「介護が必要な高齢者と精神障害のこども家族への連携を学ぶ」として、生活支援センターの相談員、精神保健福祉士より講義。11月は、「介護予防支援業務の流れ～請求業務について」（包括主マネ）、「自立支援の考え方」（北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科作業療法専攻助教授）、「介護予防プラン、評価表の作り方～自立支援を踏まえて～について」（包括看護師）、「インフォーマルサービスについて」（生活支援CO）より講義及び実習 	○6月、11月 計2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区内7包括主マネ共催合同ケアマネ連絡会	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内のケアマネジャーの研修会を開催しスキルアップを図る <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内担当しているケアマネジャーを対象に研修会開催。「コグニサイズ～介護予防を学ぶ」「課題整理総括表・評価表の活用について」「ICFとは…ICFの意義」「グリーンケア・デスエデュケーション」「パーソンセンタードケア」「ケアマネジャーと後見受託専門職との関係づくり～後見受託専門職を知ろう～」「口から考える介護予防～オーラルフレイル～」「介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務研修」 	○4, 5, 6, 9, 10, 11, 12, 2月 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キャラバンメイト連絡会	<p>【目的】</p> <p>認知症理解の普及・啓発及び見守りネットワーク構築</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座開催、研修等実施。 ケアプラザ祭り参加 	○原則毎月第2月曜日 4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、12月、1月（2回）、2月、3月 計12回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>【目的】</p> <p>認知症理解の普及・啓発及び見守りネットワーク構築</p> <p>【内容】</p> <p>認知症サポーター養成講座開催（地域方々、老人クラブ、小学生対象）</p>	○5月15日 7月1日 11月1日 12月6日 1月30日 2月14日 計6回実施

平成29年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談	<p>【目的】 介護予防、介護保険制度、権利擁護の周知・啓発、介護相談等</p> <p>【内容】 来所が難しい地域住民に対して健康相談、生活相談等を受け、必要な制度資源につなげる。狩場緑風荘、初音ヶ丘地区センター、本陣フレンドシップデー、ヒルズほっこりカフェにて実施。</p>	<p>○4月18日 7月11日 10月17日 11月3日 11月20日 12月18日 1月15日</p> <p>計7回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆったりサロン (介護者のつどい)	<p>【目的】 介護者支援・虐待防止・リフレッシュ</p> <p>【内容】 ・介護者及び介護に関心のある方を対象に、日頃の悩みや情報交換を行い、ピアサポートの場を提供した。 ・コンサートやヒーリングにてリフレッシュする場の提供をおこなった。 ・ケアマネ、療法士など専門職を交えて情報収集、情報交換場の提供を行った。</p>	<p>○5月18日 6月15日 7月20日 9月21日 11月6日 12月15日 2月15日 3月15日</p> <p>計8回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張講座	<p>【目的】 地域で行っているサロン等に参加し、介護予防、介護保険制度、権利擁護の周知、啓発等を遠方地域へ出向き、地域ケアプラザを身近に感じて頂くと共に、身近な存在であることを理解できる場を設定する。</p> <p>【内容】 自治会、町内会、老人クラブ、各種団体等を対象にニーズに応じた講座を行い、情報提供及び情報収集を行う。又、総合相談から得られた課題を地域住民に周知し、ともに解決していく啓発を行う。</p>	<p>○4月～3月にかけて必要に応じて実施</p> <p>計23回実施</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
芝桜の会介護予防講座	<p>【目的】 運動・口腔・栄養講座を実施して介護予防の普及・啓発・とセルフケアの実施につなげるため</p> <p>【内容】 運動講座、口腔講座、栄養講座の実施</p>	<p>○4月2日・6月4日・ 7月23日</p> <p>計3回実施</p>

平成29年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さつき会介護予防講座	<p>【目的】 自主活動を推進するための関係者の調整と人材の教育</p> <p>【内容】 健康教室の実施</p>	<p>○6月18日・7月16日・10月22日・12月3日</p> <p>計4回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さくらコスモスの会体力測定	<p>【目的】 自主活動グループのためのモチベーション維持・向上のため</p> <p>【内容】 体力測定の実施</p>	<p>○4月14日・10月20日 ・2月23日</p> <p>計3回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちくちくサロン	<p>【目的】</p> <p>①アクリルタワシや雑巾を作成し、地域の施設や学校に寄付していただくことで、ボランティアと地域とのネットワーク作りを目指す。</p> <p>②サロン形式で行い、お茶を飲みながらお話し、地域の方々同士の繋がり、コミュニケーションを図る。</p> <p>【内容】</p> <p>あまり布やタオル、毛糸等を使用し、お茶を飲みながら無理ない範囲で雑巾や、アクリルタワシ等を作成し、完成品を地域の施設や学校に届ける、オープン形式のサロン。</p> <p>※6月21日：地域活動ホームへ寄贈及び施設見学実施 ※9月20日：特別養護老人ホームへ寄贈及び施設見学 ※12月20日：エリアの保育園へ寄贈及び施設見学実施</p>	<p>○4月～3月の毎月第3水曜日実施</p> <p>計12回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おりがみサロン	<p>【目的】</p> <p>①サロン形式で行い、地域住民同士が交流を図り、ネットワークの構築を目指す。②お茶を飲みながらお話し、地域の方々同士の繋がりを作り、孤立を防ぐ。③指先と頭を使うことにより、介護予防を目指す。</p> <p>【内容】</p> <p>お茶を飲みながら話をして交流を深め、おりがみで指先を使うことにより介護予防につなげる。参加者同士が自主的に作成したいものを提案をし、テーマを決める。</p>	<p>○4月～3月の毎月第2金曜日実施</p> <p>計12回実施</p>

平成29年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
玄米ダンベル体操講座	<p>【目的】</p> <p>①地域で介護予防等の活動の担い手となってもらえる方を発掘し、地域で参加できる場をつくる。</p> <p>②玄米ダンベル体操を通じて住民同士のネットワークの構築を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>玄米ダンベル（1つ300g前後）を2本使用し、基礎体操から応用編の体操までを年間を通じて習得する。椅子を使った体操から床に座った体操、立位にて行う体操等幅広いメニューにて行う。</p>	<p>○4月～3月の毎月第3金曜日実施</p> <p>計12回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ダウン症の会	<p>【目的】</p> <p>ダウン症の子と保護者がヒップホップダンスを中心とした活動を行い、互いに交流を図る。</p> <p>【内容】</p> <p>ヒップホップダンスを講師の指導のもと、対象者と保護者と一緒に踊る。ダンス以外には座談を通じた交流を実施。</p>	<p>○4月～3月の毎月第1土曜日に実施</p> <p>計12回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こどもランド	<p>【目的】</p> <p>親子の居場所作りを行うと共に子どもたちの成長を見つけていく場とする。</p> <p>また、参加者同士（親と子）の交流の場を提供することを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <p>原則月2回実施（1回はイベント、1回はフリースペース）</p> <p>イベントに関しては季節に合わせた内容や区子育て支援拠点との共催で実施</p>	<p>○4月～3月の毎月第2月曜日・第3土曜日に実施</p> <p>計21回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イスと体操	<p>【目的】</p> <p>介護予防・閉じこもり防止を目的とする。自分のペースで実施していただきリラックス効果を図っていく。</p> <p>地域での自主的活動の普及啓発を図る</p> <p>【内容】</p> <p>イスに座ったままでの体操を実施。家でも気軽にできるプログラムの実践を行う。</p>	<p>○4月～9月 毎月第2・4木曜日</p> <p>10月～3月 毎月第2木曜・第4金曜日に実施</p> <p>計23回実施</p>

平成29年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
大人のヨガ教室	【目的】 体の柔軟性を保ち、リラックス効果と健康増進を目指す。また、ヨガを通じて日頃のストレスを解消できることを目的とする。また中間層の方々へのケアプラザの普及啓発の周知および地域にある施設の周知を図る 【内容】 リラクゼーションヨガの実施	○5月9日・6月13日・7月11日・10月19日・11月16日12月21日・1月18日・2月15日・3月15日 計9回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リズムあそび	【目的】 未就園児の方を対象とし、リズムに合わせて体を動かしながら、季節感を感じられるようにする。リトミックを通じて発育を促す 【内容】 リトミックを通じた発育の促しおよび季節感を感じれるプログラムの実施	○5月10日・6月7日・7月5日・10月4日・11月1日・12月6日・1月10日・2月7日・3月7日 計9回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
豆腐販売	【目的】 障害者の就労支援を具体的に支援するために、販売先の確保をする。そして、販売先での社会経験をもとに自立した生活が送れるように支援する 【内容】 とうふ工房による豆腐の販売	○4月～3月の毎月第2水曜日 ※5月・1月は除く 計10回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わくワク体操×とくトク講座	【目的】 地区における住民の健康意識の向上を図る 今後も住民主体で継続的に活動していくためのキッカケ作り 【内容】 ウォーキング指導および健康体操等の実施	○6月30日・10月19日・3月14日 計3回実施

平成29年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護相談会	<p>【目的】 権利擁護に関する普及啓発、個別相談の対応</p> <p>【内容】 ・個別相談</p>	<p>○9月21日 11月16日 12月21日 2月15日</p> <p>計4回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はつらつ教室	<p>【目的】 一般高齢者に対し、転倒予防教室、口腔ケア、栄養指導を行い、セルフケアにつなげる目的で実施</p> <p>【内容】 運動講座、口腔講座、栄養講座の実施</p>	<p>○9月22日・11月22日・3月23日</p> <p>計3回実施</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おしえて幼稚園のこと	<p>【目的】 近隣幼稚園の様子や日常生活について聞くことを目的とする。</p> <p>【内容】 近隣の幼稚園の卒園生の保護者を数名招き、参加者全体に向けて話をしていただき、別途個別でも対話し情報収集を行ってもらった</p> <p>※区地域子育て支援拠点こっころ共催事業</p>	<p>○8月3日</p> <p>計1回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ2017夏ボランティア研修・説明会・夏祭り	<p>【目的】 ① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図る。 ③ 障がい児に理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。 ④ 関係諸学校及び団体との協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように継続的に努める。</p> <p>【内容】 保土ヶ谷区内在住・在学の小学生～高校生の障がい児を対象。余暇活動するに当たり事前に研修を行い、参加者とボランティアがペアになり、夏祭り・イベントを楽しんだ。</p> <p>※区内全地域ケアプラザ、保土ヶ谷養護学校、希望の家、ゆめ、区社協、すみれ園、保土ヶ谷区役所共催事業</p>	<p>○7月 日：ボランティア研修説明会 7月30日：夏祭り・レクスポ大会</p> <p>計2回実施</p>

平成29年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スカイダックに乗ろう	<p>【目的】 「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供として親子で安心して外出のできる場所を利用して親子同士の交流を図る。ケアプラザが連携して合同事業の拡充を図る。</p> <p>【内容】 保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート助成金を活用してみなとみらい周辺への外出企画。横浜水陸両用バススカイダックに親子で乗船して、その後昼食を日本丸近くで取り交流を図る。最後に大自然エンタメミュージアムオービィ横浜を見学して一日を親子で楽しむ。</p> <p>※常盤台地域ケアプラザ・上菅田地域ケアプラザ・仏向地域ケアプラザ・昆川地域ケアプラザ共催事業</p>	<p>○8月24日 計1回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生向け夏休み企画 夏休み銅版工芸教室	<p>【目的】 夏休みの課題を早期に終わらせる機会として実施することで保護者に安心感を持ってもらうと共に、他学年や他校の子どもたちの交流の場として提供する。</p> <p>【内容】 小学生を対象にした銅版工芸教室で作品を作成する</p> <p>※きさらぎの会共催事業</p>	<p>○8月1日 計1回実施</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
傾聴講座～ボラスキル向上講座～	<p>【目的】 地域包括センターの依頼が増加傾向にある、地域で活動できる傾聴ボランティアの発掘を目指す</p> <p>【内容】 傾聴講座の実施</p> <p>※権太坂コミュニティハウス共催事業</p>	<p>○11月13日・11月20日・11月27日 計3回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
岩崎エリア公園あそび	<p>【目的】 親子で行う外遊びに関する学びや情報の提供。子育てママたちのネットワークの構築を目的とする。</p> <p>【内容】 瀬戸ヶ谷町公園、霞台公園にて親子での公園あそび、近隣園児との交流</p> <p>※岩崎エリア子育て支援連絡会共催事業</p>	<p>○11月2日・11月9日 計2回実施</p>

平成29年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生活支援スキル取得講座	<p>【目的】</p> <p>①地域で活動できる簡単な修繕等の依頼に対応できるボランティアの発掘を目指す。</p> <p>②住民が自主的に活動できる為の知識を得ることを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <p>庭木の剪定講座・障子の張り替え講座・簡単な修繕・エコ洗剤の作り方の3回シリーズのD I Y講座の実施</p>	<p>11月29日・12月7日・12月8日</p> <p>計3回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
桜の木体操クラブスキルアップ研修	<p>【目的】</p> <p>自主活動グループのためのモチベーション維持・向上のため</p> <p>【内容】</p> <p>自分たちでも出来る簡単な体操の習得や筋力アップを目的とした研修を実施</p>	<p>○11月6日</p> <p>計1回実施</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
プラザまつり	<p>【目的】</p> <p>こどもから高齢者まですべての年代の方々を対象としたお祭りを実施することで、地域の方々にケアプラザの周知をし、地域住民との顔の見える関係作りを構築することを目的とする</p> <p>【内容】</p> <p>ケアプラザの職員が主体となり、ボランティアさんや保土ヶ谷区社会福祉協議会等関係機関の協力を得ながら模擬店やイベントを企画し実施した</p>	<p>○11月26日</p> <p>計1回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康イベント	<p>【目的】</p> <p>高齢者から子どもまで口腔ケアや栄養に関することに対し、関心を持ってもらうことを目的とする</p> <p>【内容】</p> <p>プラザまつりの一角を使用し、栄養・口腔講座を実施。子供から高齢者が楽しめるような内容にし、専門職を配置することで、参加者も気軽に相談できるように努めた</p>	<p>○11月26日</p> <p>計1回実施</p>

平成29年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学齢障がい児余暇支援事業 ダンス発表・交流会	<p>【目的】</p> <p>①岩崎地域ケアプラザ、仏向地域ケアプラザ、川島地域ケアプラザで実施している学齢障がい児余暇支援事業の参加者同士の「新たな出会いの場」となるキッカケづくりと交流を目的に実施</p> <p>②日頃の活動の成果を発表する場の提供を目的とし地域住民に向けた障がい理解の普及啓発を図る</p> <p>【内容】</p> <p>岩崎地域ケアプラザで実施したプラザまつりのステージイベントにてダンス発表 ダンス発表終了後は参加者同士の交流会を実施</p> <p>※仏向地域ケアプラザ、川島地域ケアプラザ共催事業</p>	○11月26日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほどがや区民まつりの参加	<p>【目的】</p> <p>区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。</p> <p>そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>【内容】</p> <p>福祉保健センター1区分を使用し、ケアプラザの周知を行った。</p> <p>「You何しにCPへ？」をタイトルに、フローチャートを用いて自分に合った活動分野を診断した。その後診断シートで各ケアプラザの分野ごとの活動を紹介した。手作りのマイクを使って、インタビュー形式に来場者に声掛けすることで来場者の興味がわくようにした。また、ケアプラザの職員が来場者と直接コミュニケーションを図れるよう工夫した。</p> <p>その他、ケアプラザ自主事業をポスターにまとめ、チラシを配布することで自主事業の周知も実施した</p> <p>※区内全地域ケアプラザ、保土ヶ谷区役所</p>	○10月14日 計1回実施

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
初音が丘小学校3年1組総合学習～高齢者・福祉について考えよう～	<p>【目的】</p> <p>学校の総合授業において地域福祉をテーマに進めることで、「地域には様々な人が暮らしていること」や「地域での様々な支えあいの取組みがあること」などを理解する。上記を通じて気づきや、それを支えあう思いやりや助けあいの気持ちなどの大切さや自分たちが暮らしている地域や福祉への関心が高まることを目的とする。</p> <p>【内容】</p> <p>ケアプラザについての講義・施設見学の実施 高齢者について グループワークを実施 ケアプラザデイサービス利用者との交流(学校紹介や総合授業を通じて学んだことの発表、生徒が考えたレクリエーションを通じての交流の実施)</p>	○10月25日・12月15日・1月30日・2月1日 計4回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初音ヶ丘地区センターまつり出張相談	<p>【目的】</p> <p>地域ケアプラザの周知と介護保険制度や認知症理解の普及啓発</p> <p>【内容】</p> <p>・ペーパークラフトでオレンジロバの作成を行いながら認知症についての普及啓発と個別相談</p>	○9月29日 計1回実施

平成29年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
区内病院認知症講座	<p>【目的】 病院と連携して、地域の方に認知症を正しく理解していただくための普及啓発とケアプラザの役割を知っていただくための普及啓発</p> <p>【内容】 ・市内病院（育生会横浜病院、保土ヶ谷中央病院）と連携した認知症講座</p>	○10月21日 11月6日 計2回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーターフォローアップ研修	<p>【目的】 認知症サポーター養成講座受講後に更なる認知症への理解を深める。</p> <p>【内容】 ・認知症を介護する当事者から認知症発症から介護保険サービスを利用するまでの流れを伝え、家族の気持ちや制度の利用の仕方を学ぶ。</p>	○2月23日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
知っておきたい遺言と相続	<p>【目的】 権利擁護についての普及啓発</p> <p>【内容】 ・行政書士による「遺言・相続」の講座</p>	○3月4日 計1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
救急法講座	<p>【目的】 AEDの使用法等、応急手当の基礎知識と技術を学ぶことを目的とする</p> <p>【内容】 消防署職員によるAED使用方法および心肺蘇生法についての講義と演習の実施</p>	○3月10日 計1回実施

平成29年度 自主事業報告書

横浜市岩崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
部屋利用説明・交流連絡会	<p>【目的】 利用時の注意事項等の確認および活動団体間の協力体制の構築及び情報交換を行い、活動団体の活性化を図る</p> <p>【内容】 お部屋利用時の注意事項等の説明の実施 活動団体間の連携等を図る為の交流会および活動体験会の実施 専門職(エリア内ケアマネジャー)や関係機関(区ボランティアセンター・アワーズ)との交流</p>	<p>○3月22日 計1回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ 2018春ボラン ティア研修・説 明会・運動会	<p>【目的】 ① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図る。 ③ 障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。 ④ 関係諸学校及び団体との協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように継続的に努める。</p> <p>【内容】 保土ヶ谷区内在住・在学の小学生～高校生の障がい児を対象。余暇活動するに当たり事前に研修を行い、参加者とボランティアがペアになり、イベントを楽しんだ。</p>	<p>○3月18日：ボラン ティア研修説明会 3月25日：運動会 計2回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
多職種連携全体 会	<p>【目的】 ・地域の医療関係者（医師、歯科医師、薬剤師、看護師等）、地域の介護事業所（居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、訪問看護事業所、通所介護事業所等）多職種の方達との連携強化</p> <p>【内容】 ・基調講演「高齢運転者対策新制度について」（保土ヶ谷警察署交通課）、「高齢者の自動車運転を通しての認知症の早期発見について」（ほどがや脳神経外科クリニック 日暮Dr）、「認知症初期集中支援チームについて」（東川島診療所 高崎NS）→「高齢者の自動車運転について」～気づきや各々何ができるか意見交換～グループワーク。</p>	<p>○3月 計1回実施</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区内7包括主マ ネ共催合同主任 ケアマネ連絡会	<p>【目的】 ・地域の主任ケアマネジャー</p> <p>【内容】 ・区内の主任ケアマネジャー対象に研修会及びグループワーク。「ファシリテーション講座」</p>	<p>○4月21日、6月16 日、1月18日 計3回実施</p>